

公益社団法人 にいがた被害者支援センター

支援センターだより

2018年2月 第23号



犯罪被害者支援フォーラム 2017 in にいがた



平成29年度 犯罪被害者主導キャンペーン事業 犯罪被害者支援フォーラム2017 in にいがた

新潟県、新潟県警、と当センターが共同で平成29年11月18日（土）、新潟市中央区上所の新潟ユニゾンプラザにおいて【犯罪被害者支援フォーラム2017 in にいがた】を開催しました。写真は全国被害者支援ネットワーク理事長 平井紀夫氏による（演題「犯罪被害者とその支援～私の体験～」）講演会の様子です。

講演会後のアンケートでは、「講師の話はとても分かりやすく感動した。自分でも何かできる手伝いをしていきたい」、「警察官になり被害者を減らそうと強く思いました」、「とても学ぶことがおわかった」、講演内容は被害体験から支援活動の全体像、現状等説得力のある理路整然とした内容で十分理解できた。このような活動を広く地道に行っていただきたい」、「初めてこのような講演を聞いた。うなずくことが多くあった。出席できてよかったです。県警音楽隊の演奏も大変良かった。」等多くの感想が寄せられました。

（講演要旨は次ページに掲載）

研修を積んだ相談員が応対します。

相談電話

新潟地区 ☎ 025-281-7870

中越地区 ☎ 0258-32-7016

上越地区 ☎ 025-522-3133

●相談日 月～金
(祝日・年末年始は除く)

●相談時間10時～16時

面接相談
予約が必要

直接支援

秘密厳守・相談支援無料

犯罪被害者支援フォーラム 2017 in にいがた 第1部「犯罪被害者とその支援～私の体験～」講演要旨

講師：平井 紀夫氏 全国被害者支援ネットワーク理事長

講師プロフィール

昭和40年3月京都大学卒業、平成13年オムロン（株）副社長、
平成16年5月京都犯罪被害者支援センター副理事長、京都大学総長
特別顧問、同志社大学教授、関西生産本部特別参与、京都大学監事
等を歴任、平成24年5月 全国被害者支援ネットワーク理事長に就任。



【事件の概要】

1996年9月7日、北京のホテルの部屋で息子が強盗に襲われて、亡くなつた。中国旅行の途中であつた。翌日、北京の大連館から『息子がホテルで死んでいる。』『首を切られている。』『財布がない。』などと電話が入つた。その時から電話が鳴り続け、また、インターホンが鳴り続けた。

【その時の心身の状況】

全身が熱く感じた。眠れないし、食事もまゝならなかつた。記憶が点でしかなく、前の晩には息子の死を関係者に伝えているのに、翌朝はまだ生きていると思っていた。

また、自責の念が非常に強かつた。なぜ、北京に行くことを許してしまつたのか。・・・ダメだと云えば行かなかつただろう・・・妻や娘にも辛い思いをさせてしまつたという思いが強かつた。自宅から外に出ることにも非常に勇気が必要だった。外出すると誰からもジッと見られていると感じた。

【二次被害について】

妻が買い物に出かけた時に、近所の方から『お元気ですね。』と云われた。その人にしてみれば、励ましの言葉と思うが、妻にしてみれば、元気な訳がない。妻は他人から元気であると見られていることに大変ショックを受けた。

私も10日程経つて、会社に行った時に、ある人から『頑張って下さい。』と云われた。これ以上頑張れる訳がない。犯罪被害者は何気ない一言で傷つくことを自分が体験をした。

【助けられたこと】

息子の友達が毎年9月の日曜日に集まってくれる。

21年間続いている。昨年は30名集まつて、懇親会をしてくれた。自分達家族の知らない息子の姿を友達が話してくれた。新しい息子の一面を知る事ができた。

【全国被害者支援ネットワークの活動について】

私たちの活動の目指す姿は、1番目に犯罪被害者が『全国どこにいても』支援を受けられるということ。2番目に『いつでも』(24時間・365日)被害者の支援の求めに応えられること。平成26年に全都道府県の被害者支援センターが公安委員会より犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けることができ、『全国どこにいても』という体制ができた。しかし、被害者がセンターの所在地から遠い所も多い。センターに行くには時間が掛かる等、課題は多い。2番目の『いつでも』については、多くのセンター（にいがたも含めて）が午前10時から午後4時までの対応しかできていない。国に要請して一定の協力を得ることができたので、来年の4月1日から、統一番号のナビダイヤルを設定し、7時半から22時までの間、各センターが支援できていない時にネットワークがフォローする。24時間・365日ではないが、対応可能な時間が長くなることは一步前進である。

【まとめとして】

被害者は突然、犯罪被害に遭う。犯罪被害者になる。加害者によって、突然180度自分の人生を変えられる。その時から被害者や家族・遺族はさまざまな機関と接していくなければならないし、日々の生活を必死で生き抜いていかなければならない。被害者が自らの力で生きていかなければならぬが、多くの支援を得ることによって、なんとか立ち上ることができる。

広報活動

平成29年度【犯罪被害者週間】協賛キャンペーン

犯罪被害者支援の必要性、重要性等について広く県民に周知広報することを目的に、新潟県・新潟県警と当センター共同で平成29年11月11日（土）新潟駅万代口、新幹線乗り場通路で新潟県のマスコット「トッキキ」新潟県警マスコット「ひかる君」と共に総勢20数名で犯罪被害者支援フォーラムのチラシ、リーフレット等を配布し広報活動を行いました。



新幹線通路



万代口

イベント会場での広報

イオンモール新潟南イベント会場
29年4月 イオン新潟南



OKIデンタルフェア
29年6月 新潟市東区 NOCプラザ



県民交通安全フェア 29年7月
新潟市中央区撞木 新潟テルサ



江南地区交通安全大会 29年10月
新潟市江南区 江南文化会館会場



性暴力被害者支援センターにいがた

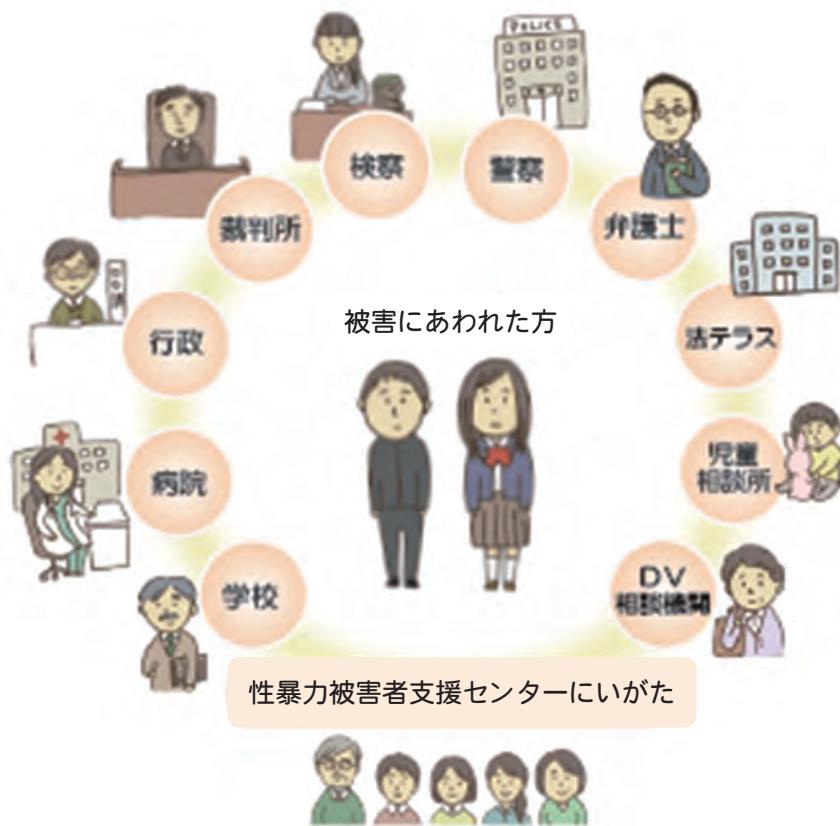
性暴力は、同意のない、対等ではない、強制的で一方的な性的行為であり「犯罪」です。世界的に広がる[me too]の動きでもわかるように、性的な自己決定権を脅かす性暴力被害を、私たちは決して見逃すことはできません。昨年は110年ぶりに性犯罪関連規定が大幅に見直され、性犯罪を厳罰化する改正刑法が施行されています。その一方で、性暴力被害者の実に67.5%は誰にも相談していません（平成27年度内閣府男女共同参画白書）。被害者の多くがひとりで悩み、苦しんでいるのです。

そういう時代を背景に「性暴力被害者支援センターにいがた」は平成28年12月1日に開設されました。現在女性相談員27名が電話相談、面接相談、病院の付添い等の直接支援にあたっています（男性の被害者には男性の相談員が支援します）。

開設から1年、センターに寄せられた相談件数は130件に上ります。被害に遭われた方々の気持ちに寄添い、相談者が心と身体の健康を取り戻す日まで、息の長い支援を行っています。また、県内の学校等に小冊子「もしもの時の大事なお話」を配布し、センターの周知に努めています。あなたや、あなたの大切な人が性被害に遭ったら、どうぞセンターにお電話ください。性暴力被害者支援センターにいがたを中心に、県、県警本部、県産婦人科医師会、県弁護士会、県臨床心理士会等の関係機関・団体と連携し、総合的な支援を行います。今後ともどうぞよろしくお願いします。



センターの仕組み



もしもの時の 大事なお話

～性暴力被害にあったら～



相談電話 025-281-1020

相談日 月曜～金曜 時間 10:00～16:00 (祝日・年末年始は除きます)

交通事故被害者遺族の思い

大空の向こうでもドライブを 楽しんでいますか?

交通事故被害者遺族の手記「天国にいるあなたへ」
第5集より抜粋して転載しました。

曾我 まなみ

息子は平成26年8月28日の夜に、信号機のない交差点で、バイクの後部座席に同乗している時に、バイクと車が衝突して、そのはずみでバイクから投げ出されて、亡くなりました。20歳でした。

息子は私と夫との間に平成6年に生まれた長男でした。小さい頃はアトピーと気管支ぜんそくを持っていたため、ひどくなると病院に入院することもありましたが、人見知りせず、明るい子で、近所の子と一緒によく外で遊ぶ元気な子でした。また、人懐っこい性格でしたので自分から周りに話しかけ、小学校、中学校を通じていつも友人が絶えませんでした。

息子は車が好きで、車の整備の出来るアルバイトも自分で探し、高校を卒業するまで頑張って続けていました。高校卒業後は、自動車に関わることができる自動車整備の会社に就職しました。

息子は就職後一年ほど経った頃から会社の近くで一人暮らしを始めました。家を出て行く際には「父ちゃんと母ちゃんの子どもで良かった」と言って、泣きながら出て行きました。

息子は私たち夫婦が自分たちの身を削り、大切に育ててきた一人息子です。不器用だけど母親思いの優しい子でした。私の中で一番頼りになる存在であり、息子の将来は私の希望でした。

その息子が突然いなくなってしまったことで、この先の将来のことが全く考えられなくなりました。今でも救急車のサイレンの音を聞いたときや、毎月28日の月命日には、どんな事故だったんだろう、こんな事故だったのだろうかと思い悩みますし、息子と事故のことが頭から離れることはありません。事故から三年経ちましたが、時間が経つにつれ、息子への思いが募ります。寂しさしか

ありません。

息子は、自分の仕事を極めるために、一生懸命頑張っていました。これから先、挑戦したいことが沢山あったはずです。

加害者が交通ルールに則った運転さえしてくれれば、息子は亡くならなくて済んだのに、と今でも強く思っています。やり場のない怒りの日々です。ただただ悔しいです。運が悪かったなんて思いたくありません。人ひとりの命を奪って、どれだけの人が不幸になったか、自分の罪を重く受け止めて欲しいです。交通事故で人を死なせてしまうことは、たとえ不注意が招いたことだとしても立派な罪です。

息子を失った悲しみは癒えませんが、事故から三年が経ち、主人は仏像彫刻を始めました。仏像を彫っていると亡くなった子どもを近くで感じられると言していました。

私も、主人の作る仏像彫刻を見ていると自然と涙が出ます。

今年から二人で、少しでも気分転換にと、お寺まわりもしています。今迄、気にもしなかった蓮の花が目に留まるようになったり、心が和むことも見つけられるようになりました。

少しずつですが、時間と一緒に周りのことも考えられるようになってきました。今も変わらず私の周りの人達は心配して良くしてくれます。有難いです。

“いつまでも泣いていると子どもが心配する”と思えるようになりました。

ふっとした時に線香の香りがすると子どもが傍で見守ってくれていると感じながら「迎えに来てくれるまで、かあちゃん頑張るから」と話しかけて、毎朝手を合せています。



ある日の自助グループの様子

被害者支援自動販売機の設置によるご協力のお願い

にいがた被害者支援センターの行う活動に賛同し、貴企業、貴団体の社会貢献活動の一環として清涼飲料の自動販売機の新規設置、または切り替えをしていただける事業所・団体を募集しています。設置・切り替えをしていただくことにより、コカ・コーラボトラーズジャパン㈱新潟リージョン様、サントリー ビバレッジサービス㈱様、ダイドードリンコ㈱様、和光ベンディング㈱様、コーシン㈱様より、自動販売機の売り上げの一部を当センターに寄付されるシステムとなっています。ぜひご支援・ご協力ををお願いいたします。

(ご連絡はセンター事務局 025-281-2131)

平成29年12月末日現在の設置ご協力企業・団体様は次の通りです

●コカコーラボトラーズジャパン(株)新潟リージョングループ自販機設置個所

◆民間事業所等

田中産業㈱、田中運輸機工㈱、㈱草間組、㈱新潟文化自動車学校、土田商店、㈲オービット、㈲大伸通信、㈲瀬戸川工業所、特定医療法人青山信愛会 新潟信愛病院、㈲上越ケミカル、雑誌レジデンス、涌井建設工業㈱、㈲ランドマーク資材センター、㈲光和建装工業、㈱共同建設資材センター、県ロードサービス㈱、ガレージプロセス、新潟大学前駅駐車場、㈱新潟中央自動車学校、丸克建設㈱、新潟県司法書士会、酒道楽工藤、㈱まつき、萬代電業㈱、㈱リクシルトータルサービス新潟営業所、㈱アルバ建設、㈲ランニング、㈱ハヤマサービスオリックスレンタカー新潟駅前営業所、㈱上杉興業、新潟県自動車販売店協会、東日本高速道路㈱新潟支社、新潟ガラスリサイクルセンター㈱三条営業所、松本機工㈱新潟工場、㈱萩田換地、㈱サン・メタル、㈱松崎木工場、サップセキュリティ㈱、水原自動車学校

◆警察関係

県警察本部、運転免許センター（新潟、長岡、上越）、交通機動隊、機動隊、警察学校、小千谷署、三条署、新発田署、村上署、新潟北署、小出署、南魚沼署、秋葉署、燕署、五泉署、佐渡西署、佐渡東署、新潟中央署、江南署、新潟西署、西蒲署、新潟東署、長岡署、新潟南署、十日町署、柏崎署、上越署、糸魚川署

●サントリービバレッジサービス(株)自動販売機設置個所

新潟東警察署、加茂警察署、五泉警察署、上越警察署、見附警察署、妙高警察署胎内北警察署、新潟北警察署

●ダイドードリンコ(株)自動販売機設置個所 県警察学校、加茂警察署

●(株)コーシン自動販売機設置個所 新潟西署 ●(株)和光ベンディング自動販売機設置個所 柏崎署



被害者支援自販機

イオン「幸せのイエローレシートキャンペーン」でのご協力のお願い

イオンリテール㈱様では地域社会への貢献の一環として地域で活動するボランティア団体等に助成する「幸せのイエローレシートキャンペーン」を行っています。

毎月11日にイオン新潟南ショッピングセンターで買い物され、レシートを店内各所に設置された投函コーナーの当センターボックスに投函していただきますと、レシート金額1%相当額の物品がイオンリテール㈱様から当センターへ寄贈されます。当センターでは、これを支援活動等の事務用品などに有効活用させていただきますので、皆様ご協力ををお願いいたします



にいがた被害者支援センターのボックス番号はNo15番です



イオン新潟南ショッピングセンター投函ボックス
(食品売り場前に設置)

協力者御芳名

(平成29年4月1日から30年1月31日までの各会費及び寄付を頂いた方を掲載させていただきました。 順不同・敬称略)



正会員名簿

・団体正会員

新潟県精神科病院協会、(公財)新潟県交通安全協会、新潟県弁護士会、(一社)新潟県医師会、関東信越税理士会新潟県支部連合会、新潟県精神保健福祉協会、新潟県町村会、新潟県市長会、学校法人新潟青陵学園

・個人正会員

藤巻強生、高橋由美子、荻野佳美、大木満子、栗山啓、江花里都、野上博、甲野勝機、小林ひとみ、宇田正、遠藤和成、中曾根えり子、山後晴雄、藤田正行、小濱恵子、渡辺豊、渡部直子、小島功、津野恒子、二木宏、青山勝二、落合光雄、貝瀬尚久、島典子、橘玲子、運上司子、金子英明、饒村悠子、川上克、平尾公子、川上耕、瀧澤尚以、太田信子、高野義雄、稻餅武雄、伊藤未松、星野理香、北山桂子、井口善雄、大島煦美子、本間サチ子、中島久美子、大竹玲子、中村協子、渋谷志保子、坂井明都、櫻井香子、真壁伍郎、長塚康弘、早福弘、獅子山教子、駒野祐子、上村アイ子、大橋純子、中村知子、佐藤志津、堀洋子、田中久美子、佐藤理智子、近藤麻美子

団体賛助会員



アドリテム司法書士法人、株赤川組、株阿賀・グローバル、社会福祉法人愛和グループホームやしろだ、医療法人社団愛クリニック、岩渕浩法律事務所、いけはた歯科医院、株いやしライフ、株壱番、株エーアイクリエイト、栄光産業株、大浦整形外科医院、沖歯科グループ、株大橋商会、柏崎刈羽地区保護司会、空手道クラブ空美会、柏崎地区交通安全協会、株金田塗装工業、木田町内会、桐生歯科医院、新潟市東区下木戸・桑原歯科医院、頸城自動車株、県央加工協同組合、医療法人 敬成会 白根緑ヶ丘病院、医療法人社団 惠和会 木暮歯科、社会福祉法人啓真会 特別養護老人ホーム新潟あそか苑、社会医療法人健進会 新津医療センター病院、一般財団法人 健康医学予防協会、株コロナ、特別養護老人ホームにいだの里、小林石油株、五泉市東蒲原郡医師会、三条市医師会、角サンケイ新潟企画、新発田ガス株、自動車安全運転セント-新潟県事務所、しのはら歯科、株島津組、株C・S・U、ジェイメディカル株、医療法人新成医会 みどり病院、砂田徹也法律事務所、セコム上信越株、株全研ビルサービス、積水ハウス株新潟支店、医療法人青松会 松浜病院、社会医療法人 仁愛会 新潟中央病院、株ソーゴ、株タカド、ダイセー歯科クリニック、株たいよう共済新潟支店、谷澤整形外科クリニック、大広運輸株、第一建設工業株、株大創、田村自動車整備工場、株燕タクシー、医療法人 津南デンタルクリニック、常木歯科医院、外山産業株、株トア、株東光クリエート、多和田歯科医院、滝澤歯科医院、ツルマキ工業株、株トスネット上信越、十日町地区交通安全協会、株とっと、株鳥屋野不動産、ナミックス株、NAGA I ロングオートセンター株長井自動車販売、長岡長生ライオンズクラブ、長岡タクシー株、株新潟食品運輸、(一社)新潟県警備業協会、新潟県建設業協会(与板支部)、新潟県警友会連合会、新潟綜合警備保障株、新潟県司法書士会、新潟県民共済生活協同組合、新潟県指定自動車教習所協会、新潟県自動車練習所、株新潟中央自動車学校、新潟県安全運転管理者協会、(一社)新潟県解体工事業協会下越支部、新潟県解体工事業協会中越支部、新潟県自動販売店協会、新潟市医師会、一般社団法人 新潟県歯科医師会、新潟県商工会議所連合会、新潟県暴力追放運動推進センター、新潟信用金庫、新潟県遊技業協同組合、新潟県自動車整備振興会、新潟万代ロータリークラブ、社会福祉法人啓真会特別養護老人ホーム 新潟あそか苑、新潟中央ホンダ販売株、公益社団法人新潟県薬剤師会、株新潟クボタ、新潟県労働金庫、公益財団法人 新潟県保健衛生センター、学校法人新潟科学技術学園新潟薬科大学、新潟県行政書士会、新潟県火災共済協同組合・にいがた県共済、公益社団法人 新潟県看護協会、日本歯科大学 新潟生命歯学部、ネットトヨタ越後株、根津歯科医院、株萩田換地、花みずき歯科医院、株VIP、東青山歯科医院、ヴィームスタジアム株、株古田組、藤巻町内会、株双葉印刷、株福田組、北越警備保障株、株三原田組、見附市南蒲原郡医師会、三島病院、碧建設株、角宮本デンタルラボラトリ、源川医科器械株、村上市岩船郡医師会、学校法人明倫学園 明倫短期大学、メイプル歯科クリニック、やかた歯科医院、山川歯科医院、株ゆい工房、株渡大組、株ワールドライン、新潟白根総合病院

個人賛助会員



青木和司、青柳芳郎、阿部政志、青木優一、青木優子、安藤烈、安藤栄子、相澤いつみ、浅田幸子、阿坐上光男、阿部隆、石田恵子、井伊務、五十嵐喜一、稻餅三重子、今田芳明、稻田秀樹、五十嵐久、伊藤基子、池田正友、石川伊作、和泉澤貞子、石塚誠一、今井千恵子、市嶋範恵、今城清司、石原博、石原護、板垣隆、猪股良二、池田賢二、岩井淳治、今井利之、池田信吾、辯護士氏家信彦、上原長武、遠藤記恵子、江森謙太郎、江川哲史、大滝明日香、小野栄、大島證道、大矢傑、小田島美智子、沖野節子、押見清雄、大倉憲吾、音田裕司、大平泰三、大塚智恵子、小黒睦弘、小幡政行、小熊力、大島昌枝、小川花奈、大野達彦、大滝西一郎・直美、岡本清、太田等、弁護士金子修、風間康則、金子和子、金子優、金井くみ子、加地正樹、風間桓由、貝瀬松美、木村眞悟、岸本正智、鬼島基伸、串田重男、栗山美智子、栗山宣子、栗山英雄・祥子、栗山勝江、工藤和雄、久我正作、栗賀隆、惠盛良、小山高司、小林澄夫、近藤正明、弁護士後藤直樹、辯護士小村隆、小林澄江、小山晴代、

香田一男、小池進吾、小島一則、小嶋謙一、神立秀明、小松紀子、児玉省二、近藤光雄(近藤組)、小林則幸、小松茂樹、坂本力ある、坂井秀弥、齋藤謙三、佐藤あづさ、斎藤洋子、佐藤幸示、酒井正昭、佐野 實、佐川和夫、佐野稻子、斎藤敏子、弁護士櫻井英喜、嵯峨トシ、佐原葛一、櫻井春夫、澤村陽一、斎藤長一、桜井正二、坂井広也、佐藤 亨、斎藤卓也、嶋田啓介、十二勝・幸子、塩谷 洋、弁護士鈴木 俊、諏佐恭一、須貝恵吉、関 洋一、瀬藤 純、相馬清吉、田村千秋、高橋 勝、田下厚子、田中克幸、高橋節子、田村いづみ、田中 稔、高岡光夫、高橋玲子、武村真理、竹内邦彦、高野雅史・優子、弁護士高橋 勝、滝本友子、高橋祥子、高橋高一、高橋和博、高山克幸、鶴巻信朗、土屋貴司、弁護士築井一琢、津野敏江、外立正紀、富樫 勇、中村光春、弁護士中澤泰二郎、中川紀子、中野宏子、中村俊光、中野 誠、永倉 税、中倉一浩、中林昭三、成田浩二、西山 正、西脇和子、庭野カツ、二平正司、西脇秀樹・圭子、庭野トシ工、西潟祐子、根津明子、野口祐郁、野上信子、野上 正、野澤 修、野村和子、野沢成二、半戸哲夫、半藤千枝子、こども医院はしもと橋本謹也、弁護士長谷川進、長谷川虹兒、灰野 博、林 隆行、廣川 明、廣島 高、平澤敏夫、藤沢直子、弁護士藤田善六、福原浩次、藤崎藤作、古川尚史、堀川誠一、本間武志、細野紀雄、本田恭子、本間 満、細山 恒、豊納万穂子、前山憲三、丸山千賀子、松原正文、三上剛明、宮崎正夫、皆川和秀、水岡裕子、水薺芳英、水野俊一、三原 栄、南 安美、三浦寛男、村山和子、武藤末次、森田敏明、森二十男、山田俊博、山田ひろ子、山野芳生、山崎幸雄、山田正樹、山崎秀幸、山岸良男、山田一、柳本雄司、矢澤健一、吉田耕二、横田光義、横山トミ工、吉野美穂子、吉田 護、渡辺茂子、渡辺雅直、渡部信子、渡部文雄、渡辺幸子、渡邊 賀、若林 守

新潟県公安委員会・新潟県警察本部賛助会員



・公安委員会・警察本部

新潟県公安委員会、新潟県警察本部長、総務課、警務課、厚生課、会計課、広報広聴課、新潟県警察学校、1装備施設課、監察官室、情報管理課、留置管理課、教養課、地域課、生活安全企画課、生活保安課、少年課、サイバー犯罪対策課、通信指令課、鉄道警察隊、刑事総務課、鑑識課、捜査第一課、機動捜査隊、科学捜査研究所、捜査第二課、捜査第三課、組織犯罪対策第一課、組織犯罪対策第二課、外事課、警備第一課、警備第二課、機動隊、交通企画課、交通機動隊、高速道路交通警察隊、交通規制課、交通指導課、情報通信部、運転免許センター、子供女性安全対策課

・警察署

村上署、新発田署、阿賀野署、五泉署、津川署、佐渡東署、佐渡西署、秋葉署、江南署、新潟南署、新潟東署、新潟署、新潟中央署、新潟西署、西蒲署、燕署、加茂署、三条署、見附署、新潟北署、長岡署、与板署、小千谷署、小出署、南魚沼署、十日町署、柏崎署、上越署、妙高署、糸魚川署

寄附者



有坂康治、イオンリテール(株)、池 淳一、井口睦子、岩崎治光、市嶋邦夫・ヨシ工、伊藤文博、石附 昇、伊藤由紀子、植木ひろ子、落合光雄、辯護士氏家信彦、弁護士遠藤智子、弁護士大花真人、押見清雄、梯架設工事佐々木組、金子和子、川上 耕、川上宗宏、川崎パウメット、川崎義行、北山桂子、熊林 薫、栗山 啓、梯コーシン、神立秀明、国際ロータリー第2560地区ロータリー地域協働ネットワークセンター、甲野勝機、小林重弘、司法書士 小出行雄、佐藤敏彦、佐藤直美、サントリービバレッジサービス(株)、櫻井香子、(有)佐渡ビル管理、鈴木重亮、鈴木 俊、(有)曾根木羽製造所、高野・星野法律事務所弁護士高野毅、弁護士高野義雄、ダイドードリンコ(株)、武井慎次、大道寺雅夫、高橋忠男、高橋昌子、新潟第一法律事務所、燕警友会、手島正美、遠山知行、長岡ライオンズクラブ、長岡パライオニズムクラブ、中澤玲子、中曾根豊、新潟県信用保証協会、野口祐郁、新潟県安全運転管理者協会、馬場 昭、辯護士長谷川進、長谷川宏志、藤田美沙、弁護士藤巻元雄、(有)藤田畠店、細金勝治、丸山昌治、弁護士正木 宏、弁護士松山悦子、コカ・コーラボトラーズジャパン、(株)新潟リージョン、F V ジャパン(株)、弁護士宮川貴浩、ミツワ興業(株)、山本千鶴、山崎トシ工、山崎堅輔、(株)横井組、(株)リンクコーポレーション、和田武次、(株)和光ベンディング、渡邊陽一、星野理香、匿名者(10名)

※誤字・脱字がございましたら、お手数ですが事務局までお知らせください。

賛助会員募集・ 寄附金のお願い

当センターの活動は、主に皆様の賛助会費や寄附金に支えられています。

皆様の温かいご支援・ご協力をお待ちしています。

年会費 ●個人賛助会員／1,000円 ●団体・法人賛助会員／10,000円
※一口以上何口でもご加入いただけます。

お振込先（郵便振替口座）

●□ 座 名 義：公益社団法人 にいがた被害者支援センター
●□ 座 番 号：00530-1-84482

税法上の優遇処置について

当センターへの賛助会費・寄附金は、特定公益増進法人に対するものとして、所得税、法人税等税制上、寄付優遇処置の対象になります。また、特に個人の方からの賛助会費・寄附金は、税額控除の対象になります。

支援センターだより 第23号

(平成30年2月)

編集・発行：公益社団法人
にいがた被害者支援センター

事 務 局：〒950-0994
新潟市中央区上所2-2-3
新潟ユニゾンプラザhardt館
TEL・FAX 025-281-2131
<http://www.n-vsc.jp/>